

## 「ビッグマック指数」

イギリスの経済誌「エコノミスト」が毎年発表している指数に「ビッグマック指数 (BMI)」があります。今月は、この「ビッグマック指数」について説明します。

### 1. 「ビッグマック指数」とは

「ビッグマック指数」とは、2通貨間の購買力を比較するために用いる経済指標です。米国とその他の国におけるマクドナルドのハンバーガーの価格を比較することで、それらの国の通貨の購買力格差を把握することができますと言われています。簡単に言えば、この指数はある通貨が過大評価または過小評価されているかどうかを判断するために用いられます。この考え方は、ビッグマックが世界中で同一の品質のものが販売されていること、および自由な市場経済において同一市場の同一時点における同一の商品は同一の価格であるという「一物一価の法則」に基づいて考案されています。ただし、「一物一価の法則」は、完全競争市場が前提条件とされるため、現実的な市場では、成立しませんので、参考指標の一つとして見てください。

### 2. ビッグマック指数の計算方法

ある国のビッグマックの価格（現地通貨価格）を米国のビッグマックの価格で割って算出します。

（例：日本の場合）

ビッグマックの販売価格（日本：390円、米国：5.67米ドル）、為替レート 1ドル = 110.04円の場合  
 $390 \text{ (円)} \div 5.67 \text{ (米ドル)} \div 110.04 \div 100 = 0.625$   $(0.625 - 1) \times 100 = \Delta 37.5$  日本の BMI :  $\Delta 37.5\%$

ビッグマック指数がマイナスとなっており、円の評価は過小評価と判断され、円の価値は今後上がっていくという予想になります。

### 3. ビッグマック指数と似た指数

ビッグマック指数と似た指数として、「トール・ラテ指数」があります。この指数は、ビッグマックをスターバックスコーヒーのトール・ラテに置き換えています。

ビッグマック指数【2020年1月に英紙「エコノミスト」から発表されたランキング】

順位	国名	価格 (各国通貨)	価格 (USドル換算)	BMI*	参考価格 (円換算)
1	スイス	6.50	スイス・フラン	6.71	739
2	ノルウェー	53.00	ノルウェー・クローネ	5.97	657
3	アメリカ	5.67	USドル	5.67	624
4	スウェーデン	51.50	スウェーデン・クローナ	5.44	599
5	カナダ	6.77	カナダ・ドル	5.18	570
6	イスラエル	17.00	新シエケル	4.91	541
7	ブラジル	19.90	ブラジル・リアル	4.80	529
8	ウルグアイ	179.00	ウルグアイ・ペソ	4.78	526
9	ユーロ圏	4.12	ユーロ	4.58	504
10	デンマーク	30.00	デンマーク・クローネ	4.46	491
18	韓国	4,500.00	韓国ウォン	3.89	428
26	日本	390.00	円	3.54	390

※小数点第二位を四捨五入

## 閑話ひとつ

- ▶ 去る3月、コメディアン志村けん（あえて呼び捨てにさせていただきます）が新型コロナウイルス感染により亡くなりました。私は「だいじょうぶだあ」が好きで、「変なおじさん」「ひとみばあさん」はもちろん「デシ男」「いいよなおじさん」など数多くのキャラクターに大笑いしましたが、ユーミンの「海を見ていた午後」が流れる港の近くのレストラン（山手のドルフィンか!?)で、志村と人気女優がソーダ水のグラスを見つめあう大人の雰囲気漂わせたシリアスな場面（そのあとオチがありますが）のように、実は役者としても極めて才能豊かだったと思います。
- ▶ 「決して文化人にならず、最後まで“変なおじさん”でいたい。自分を常識派だと見せようとした段階で、コメディアンとしての人生は終わりなんだよ」生前、志村はそう言っていたとか。カッコいいと思いませんか？ 純粋に人を笑わせることに命を懸けた志村は、やっぱり「コメディアン」と呼ぶのが一番相応しいですね。
- ▶ でも、本当はこう言いたい。「天才！志村けんが亡くなりました」 合掌 (MS)